

平成 30 年 8 月 17 日
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

JADA ドーピング検査員の第 18 回アジア競技大会 ドーピング・コントロール・チームへの派遣について

日本アンチ・ドーピング機構（以下「JADA」）は、2018 年 8 月 18 日よりジャカルタ・パレンバンで開催される第 18 回アジア競技大会のドーピング・コントロール・チームのメンバーとして、11 名のドーピング検査員（Doping Control Officer; 以下「DCO」）を派遣します。

大会期間中、派遣 DCO は、世界アンチ・ドーピング規程の国際基準に基づき、競技会ならびに、選手村における競技会外のドーピング検査に対応します。また、数名はドーピング検査室を管理するステーションマネージャーとして活動する予定です。ドーピング検査は、クリーンなアスリートの権利を守り、スポーツの高潔性を担保するために非常に重要なプロセスです。今回参加する DCO の皆さんには、これまでの経験を活かし、信頼性のある検査の実施とともに、フェアでクリーンなスポーツを守る一員として活躍頂くことを期待しています。

JADA はこれまで、アジア地域のアンチ・ドーピング活動、環境整備において多方面での支援を行ってきました。今回のアジア最大の国際総合大会であるアジア大会への DCO 派遣はその一環であり、グローバルなアンチ・ドーピング・ムーブメント推進のため、今後も継続的な支援と、アジア地域のアンチ・ドーピング機関との連携強化に取り組んでいきます。

また、今回参加する DCO の経験を日本のアンチ・ドーピング活動全体の経験値として蓄積することにより、関係各機関と連携のもと、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を始めとする国際競技大会の成功に向けて、より良い準備を進めてまいります。